

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：商工費 目：工鉱業振興費

事業名 岐阜かかみがはら航空宇宙博物館管理費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 航空宇宙産業課 企画連携係 電話番号：058-272-1111 (内 2937)

E-mail: c11354@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 76,604 千円 (前年度予算額：76,604 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年額	76,604	35,160	0	1,862	0	0	0	0	39,582
要求額	76,604	35,160	0	1,023	0	0	0	0	40,421
決定額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・ 県と各務原市では、将来の航空宇宙産業を担う人材の育成を図り、もってモノづくり産業全体の振興と地域の活性化に寄与することを目的として、「かかみがはら航空宇宙科学博物館」のリニューアルを共同で進めてきた。
- ・ リニューアル後は、「岐阜かかみがはら航空宇宙博物館」に改称し、県と市の共同設置による公の施設として位置付けるため、平成29年6月議会で岐阜かかみがはら航空宇宙博物館条例(平成29年岐阜県条例第30号及び平成29年各務原市条例第16号)を制定し、指定管理者制度を導入することを決定した。
- ・ 博物館の運営管理にあたっては、供用を開始した平成30年3月24日から令和3年度末までの5か年度を期間として、(公財)岐阜かかみがはら航空宇宙博物館を指定管理者に指定しており、指定管理業務に必要な経費を負担する。

(2) 事業内容

指定管理により博物館の運営管理を行うために必要な令和3年度の指定管理料を指定管理者に支出する。

【博物館の概要】

- ① 名 称 岐阜かかみがはら航空宇宙博物館
- ② 愛 称 空宙博(そらはく)
- ③ 所 在 地 各務原市下切町五丁目1番地
- ④ 設置目的 航空宇宙に関する資料を収集し、及び展示し、並びに航空宇

宙技術史及び航空宇宙開発への挑戦の物語を伝えることにより、将来の航空宇宙産業を担う人材の育成を図り、もって産業の振興及び地域の活性化に寄与する。

- ⑤ 敷地面積 77,928㎡
(うち来館者用駐車場：26,789㎡(564台分))

⑥ 施設の内容、構造、面積及び用途

施設	建物の構造	面積	用途
本館	鉄骨造2階建	11,996㎡ (うち展示面積 9,421㎡)	エントランス、ウエルカムルーム、オリエンテーションルーム、航空・宇宙分野展示室、シアタールーム、ショップ、カフェ、休憩コーナー、事務室等
第1収蔵庫	鉄骨造平家建	663㎡	展示物等保管、修復作業
第2収蔵庫	鉄骨造平家建	580㎡	展示物等保管、修復作業

(3) 県負担・補助率の考え方

博物館は、県と市が共同で設置する公の施設であり、その管理費については、県と市が折半して負担する。

(4) 類似事業の有無

有(岐阜産業会館管理費)

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額(千円)	事業内容の詳細
委託料	76,035	指定管理料
負担金	569	火災共済保険に係る負担金
合計	76,604	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 事業主体及びその妥当性

- 平成29年3月に改訂した「岐阜県成長・雇用戦略2017」において、航空宇宙産業を県の成長産業に位置付けるとともに、岐阜かかみがはら航空宇宙博物館を活用して、「小中学生の航空宇宙に対する興味の喚起と同産業への将来の就業促進」を図ることを具体的な取組として掲げている。
- 平成27年9月に策定した「リニューアル基本構想」において、リニューアル後の博物館は、県と市が共同で施設を所有し、共同で運営管理を行う方針を示しており、県と市が事業費の半額ずつを負担して共同で実施することが妥当である。

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

将来の航空宇宙産業を担う人材の育成を図り、もってモノづくり産業全体の振興と地域の活性化に寄与することを目的として、岐阜県と各務原市が共同で設置した「岐阜かかみがはら航空宇宙博物館」について、指定管理者制度を導入することで、効果的かつ効率的な運営管理を行うとともに、入館利用の促進及び入館者サービスの向上を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	リニューアル前	現在値	目標	達成率
博物館の来館者 (人)	123,027人 (H26)	61,278人 (R2.10末)	300,000人 (R3)	20.4%

○指標を設定することができない場合の理由

--

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

入館者数：26.9万人（R1）

小中学生向け体験教室の実施：229回、参加者4,183人（R1）

（※水ロケット教室、紙飛行機教室など）

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

リニューアルから2年目の前年度の入館者数は26.9万人となった。子どもたちをメインターゲットとする博物館において、多数の小中学生向け講座を実施することにより、将来の航空宇宙産業を担う人材育成を図った。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い</p>	
（評価） ○	平成 29 年 3 月に改訂した「岐阜県成長・雇用戦略 2017」において、航空宇宙産業を県の成長産業に位置付けるとともに、岐阜かかみがはら航空宇宙博物館を活用して、「小中学生の航空宇宙に対する興味の喚起と同産業への将来の就業促進」を図ることを具体的な取組として掲げている。
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、 △：まだ期待どおりの成果が得られていない</p>	
（評価） ○	リニューアルオープン後の入館者数が、平成 30 年度 43.3 万人、令和元年度 26.9 万人となるなど、順調に推移してきた。コロナウイルスの影響下にある令和 2 年度でもリニューアル開始前と同程度であり、事業の効果は高いと言える。
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある</p>	
（評価） ○	県と各務原市とが共同で「岐阜かかみがはら航空宇宙博物館」の運営管理を行うため、リニューアルオープンにあたり指定管理制度を導入し、効率的な管理運営を実施している。

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項</p> <p>新型コロナウイルスの影響により落ち込んでいる来館者数の増加のため、展示物や教育プログラムの充実など、博物館のさらなる魅力向上が重要である一方、現在の厳しい経済情勢のなか、徹底した経費削減に向け施設運営内容の見直しを進めていくことが必要。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</p> <p>展示内容や教育プログラム等の充実、各種イベントの実施など、博物館の魅力・集客効果の向上を図りつつ、博物館のより一層効率的な運営管理を行う。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由や期待する効果 など	